実践レポート 1

㈱ナカハラ

生産管理システムの活用で「加工状況の見える化」と「負荷の見える化」を実践

超多品種少量生産の複雑な生産管理に成功

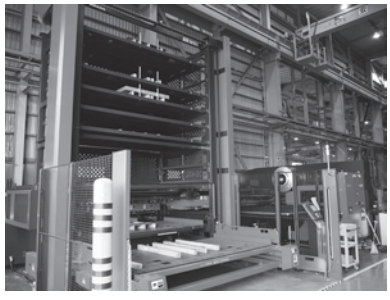
㈱ナカハラは 0.9 mm からの薄板板金加工を得意とする板金加工メーカーだ。3DCAD/CAM を活用した設計から、レーザ加工、曲げ加工、塗装、溶接、組み立てまでをすべて社内で一貫で対応している。主な加工部品は建設機械、また輸送機関連部品で、関西圏を中心に多くの顧客を抱える。長年エクセルなどで作成した計画表を元に生産してきたが、月産のアイテム数 7,000 以上、生産数も 70,000 個以上に上るなか、現場の負担軽減と納期厳守を目指し、2008 年に生産管理スケジューラー「FLEXCHE（フレクシェ）」、2010 年には板金加工に特化した生産管理システム「APC 21」を導入。両システムを連携させることで多品種少量生産の状況をリアルタイムに把握。現場の負荷軽減と、納期遵守に成功している。

建設機械メーカーの躍進とともに発展

同社の創業は 1940 年。2020 年で 80 周年を迎える老舗メーカーだ。「設計から組み立てまでの一貫生産の体制を社内で構築することで、多くのお客様に引き合いをいただき、ここまで成長することができました」と當銘修一 COO は同社の成長の要因を語る（**写真 1**）。同社がメインで製造するのは主に建設機械部品だが、近年、建設機械業界も成長。同社の業績も右肩あがりに上昇した。しかし、その分現場の負担は日増しに増え、生産管理にも問題が生じるようになった。

会社概要

会 社 名	㈱ナカハラ
ＣＥＯ	代表取締役　中原一郎
代 表 者	代表取締役社長　田中伸洋
本　　社	〒675-2113　兵庫県加西市網引町字丸山 2001-56
ＴＥＬ	0790-49-3081
創　　業	1940 年
従業員数	285 人
資 本 金	9,500 万円



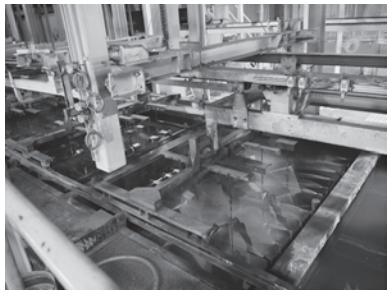


写真 1
板金加工だけでなく塗装や組立までを一貫で行う